

総延長323kmを管理する新たなチームリーダー



佐々木 靖 東北地方整備局 南三陸沿岸国道事務所長 に聞く

国道45号陸前高田市～大槌町間、三陸沿岸道路鳴瀬奥松島IC～山田南IC間、釜石自動車道東和IC～釜石JCT間の総延長323kmを管理する東北地方整備局南三陸沿岸国道事務所の所長に佐々木靖氏が就任した。同区間の道路の維持管理をメインとし、三陸沿岸道路歌津～本吉における歌津北ICのフルインターチェンジ化、陸前高田市および大船渡市における交通安全事業のほか、大船渡市における電線共同溝の整備などに取り組む。その陣頭指揮に当たる佐々木所長に今後の事業展開などについて伺った。

就任の抱負をお願いします。

佐々木 2018年度から三陸沿岸道路が供用した21年度までの3年間、東北地方整備局三陸国道事務所の工務課長として道路整備に携わりました。今回の赴任に当たり、三陸沿岸道路は過去に例のないスピードで整備が進められ、移動時間短縮のみならず、地域の産業振興、日常生活の利便性向上、内陸と沿岸の観光振興などを支援する道路として整備効果が発現されていることを実感しています。

ただ、交通事故や道路への落下物、故障車による立往生などによる交通規制が日々発生しており、せっかくの整備効果が発揮されない状況も見受けられます。求められる道路機能の維持のため、これらに対する対策が急務と考えています。

2025年度の主な事業について教えてください。

佐々木 南三陸沿岸国道事務所は21年4月に岩手県釜石市に新設され、国道45号の陸前高田市から大槌町の

延長81km、三陸沿岸道路の鳴瀬奥松島ICから山田南ICの延長175km、釜石自動車道の東和ICから釜石JCTまでの延長67kmを管理しています。安全で快適な交通を確保するための道路の維持・補修、防災対策などの道路管理をメインとし、道路パトロール、モニターでの遠隔監視などを行っています。

また、道路事業として注力しているのが宮城県の三陸沿岸道路歌津～本吉における歌津北ICのフルインターチェンジ化です。災害時における緊急輸送道路の確保や物流支援等アクセス強化のため、歌津北ICに北方向の乗り降りを可能とする道路整備を進めています。本年度は3億8,000万円の事業費で調査設計、支障物移転および改良・舗装・道路附属物工事を実施する予定です。開通時期に関してはまだ示すことはできませんが、着実に整備を進めます。

交通安全事業としては、国道45号の岩手県陸前高田市で米崎地区と川向地区の歩道整備を実施しています。米崎地区歩道整備は津波浸水想定高の下に設置されている通学路の歩道をかさ上げし、安全・安心に通行できる空間の確保を図る事業です。延長は700m、幅員は2.5m、かさ上げは車道の高さに合わせ2～3m実施する予定にしています。本年度は4,900万円の事業費で調査設計、用地買収および工事を実施します。

また、川向地区歩道整備は、歩道が整備されていない通学路区間に歩道を設置し、通学する児童・生徒や沿線住民が安全・安心に通行できる空間の確保を図る事業です。延長は500m、幅員は2.5mを予定しており、本年度は7,300万円の事業費で調査設計、用地買収および工事を実施します。

岩手県大船渡市では、権現堂交差点改良として右折車線を新設する事業に取り組んでいます。市街地に位置するこの交差点は、食い違い交差のため事故が多発し、非常に危険な状況です。本年度は1億8,800万円の事業費で調査設計および用地買収を行います。

このほか、大船渡市における大船渡地区電線共同溝として延長2.8km、立根地区電線共同溝として延長2.8kmの整備を進めています。本年度は大船渡地区が2億1,400万円の事業費で調査設計および引込連系管路工事を含む本体工事を実施するほか、立根地区では6,300万円の事業費で調査設計および支障物移転を行います。

地域から三陸沿岸道路の機能強化の要望もあります。

佐々木 東日本大震災発災当時は、スピード感を持って10年で完成させると言う目標のため、交通需要に応じハーフICで整備した箇所があります。そういったハーフICのフル化や休憩施設、トイレの整備、4車線化による災害時等の機能確保など、機能強化というニーズも出てきています。また、宮城県内では大型車の輸

送経路が東北自動車道から三陸沿岸道路へ転換している傾向も見られます。供用開始後3年が経過し、地域のニーズも変わっていると感じ、これら課題に対する道路整備の必要性などを整理しているところです。

働き方改革や生産性向上への取り組みは。

佐々木 国土交通省の「東北未来 働き方・人づくり改革プロジェクト2025」をもとに取り組みを進めてまいります。働き方改革の推進の面では、業務と工事におけるウィークリスタンスの実態把握と対応の徹底、さらには工事書類作成の負担軽減などに取り組んでまいります。生産性向上の推進のため、ICTの活用とさらなる普及拡大、遠隔臨場、WEB検査の推進など最新の技術等を活用しながら進めていきたいですね。また、地域の守り手、担い手の育成、確保、資材価格高騰など、さまざまな問題に的確に対応し進めてまいります。

建設業界に向けてのメッセージを。

佐々木 若者に建設業界の魅力を伝え、人材を育て、建設業の維持につなげてほしいと考えています。地域防災の面からも建設業はなくてはならない存在です。働き方改革、生産性向上に取り組み、いかに若者に興味を持ってもらうか。難しい面もあるかと思いますが、ともに知恵を絞り、二人三脚で歩んでいきたいです。

ありがとうございました。

profile 佐々木 靖(ささき やすし)

1971年生まれ 秋田市出身
1992年 旧建設省入省
2016年 三陸国道事務所工務第二課課長
2017年 三陸国道事務所工務第一課課長
2021年 道路部道路管理課課長補佐
2023年 道路局環境安全・防災課道路防災対策室課長補佐
2025年 南三陸沿岸国道事務所 事務所長



株式会社 アースデザインコンサルタンツ
代表取締役 菊池 透
本社：岩手県大船渡市赤崎町字石橋前6番地8
TEL:0192(27)0835・FAX:0192(27)0836

～すべての生命が光り輝く 美しい地球をデザインする～

ISO9001 認証取得

Asking for Amenity 一よりよき郷土を目指して

株式会社 佐賀組
代表取締役 高橋 賢
本社：〒022-0003 岩手県大船渡市盛町字田中島27番地1
TEL: 0192-27-7331 FAX: 0192-27-5660

自然を愛し未来の郷土づくりで地域に貢献する

株式会社 武山興業
代表取締役社長 武山 隼人
宮城県石巻市小船越字二子北上111番地
TEL.0225(62)3760 FAX.0225(62)3794
https://www.takeyama-kogyo.com

見えないところにこそ、私たちのプライドがある

NITTOC 日特建設株式会社
東北支店長 三村 政徳
盛岡営業所長 檜野 直樹
東北支店／仙台市太白区富沢南一丁目18番地の8
TEL.022(243)4439 FAX.022(243)4438
盛岡営業所／盛岡市中央通二丁目8番5号
TEL.019(606)6120 FAX.019(606)6122

空から見える、いい仕事。

株式会社 丸本組
代表取締役社長 佐藤 昌良
本社／宮城県石巻市恵み野三丁目1-2
TEL.0225(96)2222
仙台支店／仙台市青葉区国分町三丁目11-9
TEL.022(797)4744

建設コンサルタント登録 測量業登録

SNK 新日本工営株式会社
代表取締役 宮澤 岳
本社／〒025-0036 岩手県花巻市中根子字堂前4番地1
TEL.0198(23)5095 FAX.0198(23)1150
E-Mail:snk-hanamaki@snkoei.co.jp
支店／盛岡、仙台、東京
http://www.snkoei.co.jp

国土交通省 発注者支援業務等を通じ
”美しきふるさと東北”の発展に寄与いたします。

株式会社 岩手パブリック
代表取締役 佐藤 慶亀
本社／〒020-0114 盛岡市高松2-14-28
TEL.019(601)7305
営業所／宮古・秋田
http://www.ipublic.co.jp/

地域を造る技術力。地域を守る機動力。

株式会社 佐藤組
代表取締役社長 佐藤 寛
〒024-0051 岩手県北上市相去町旧舘沢20番地1
TEL.0197(67)5555 FAX.0197(67)5564代

株式会社 テラ
遠野 テラ

社 是：技術・人格・社会貢献
ISO認証取得：ISO9001/ISO14001/ISO27001/ISO55001
※橋梁・上下水道のアセットマネジメント

株式会社 復建技術コンサルタント
代表取締役 菅原 稔郎
本社／〒980-0012 仙台市青葉区錦町1丁目7番25号
TEL.022(262)1234(大代表) FAX.022(265)9309
URL https://www.fgc.jp/
支店／青森、盛岡、秋田、仙台、山形、福島、東京、名古屋、関西 営業所／札幌、事務所／函館、五輪、福島浜通り、埼玉、千葉、神奈川、北陸、三重、滋賀、奈良、兵庫、広島、熊本

地域の未来と環境を考える

若生工業株式会社
代表取締役社長 若生 翔太郎
宮城県石巻市清水町二丁目3番3号
TEL.0225(94)1111 FAX.0225(22)3992
http://www.wakoinc.co.jp/

